

不審者対応訓練開催挨拶

本日は京都府舞鶴警察署から講師をお招きしました。貴重な時間を割いていただきましてありがとうございます。これから、不審者の侵入時の適切な対応法などについて研修を深めることとなります。よろしく御指導のほどお願い申し上げます。

本日も私たちの予想をはるかに超える記録的猛暑が続いています。また、先日も東北地方では、記録的な豪雨が大きな被害をもたらしたところです。

「自然災害」の猛威と同様、不審者の侵入などに端を発する凶悪な犯罪や事件などに巻き込まれることも決してあってはなりません。

21世紀の幕開けとなった「2001（平成13）」年の6月8日、出刃包丁を持った男が小学校に侵入し、児童、教職員23名を殺傷するという大変痛ましい事件がありました。子どもたちにとって、安心かつ安全であった「学校」の「安全神話」が崩壊した大変衝撃的な出来事でした。

また、新しい元号に改元された直後の2019（令和元）年の7月18日の10時半ごろに、京都市伏見区の「京都アニメーション」のビルに男が侵入する「放火・殺人事件」が起き、36名の方が犠牲になりました。先日の7月18日には事件の惨劇の跡地でしめやかに追悼式が行われたところです。

私たち教育に関わる者一人ひとは、子どもたちの「安心・安全」を保護者様からお預かりしている者として、これらの「事件」を風化させることなく、しっかりと心に深く刻むことが常に求められています。

私たちはお互いに「真剣」かつ「怪我」なきように留意しつつ、今回の研修を、心に「刻む」一助としていきたいと思えます。それではよろしくお願い申し上げます。

京都府立舞鶴支援学校
行永分校
副校長 堀江 嘉明

